



1年生給食スタート！

～改めて新型コロナウイルス感染症と向き合う～

4月12日(月)。今日から1年生の給食のスタートです。初日は盛り付けや食べやすさを考えたメニュー。担任の先生方の他に二階先生や遠藤順子先生が準備や片付けのサポートに入ってくださり、私が検食を終えて教室に伺った時には、どの学級でも食事が始まったところでした。

もちろん1年生の教室でも、給食は「新しい生活様式」の中で行われ、座席は他の学年同様、全員黒板を向いて、おしゃべりはなし、静かに食事をするのが初日から徹底されていました。

さて、新型コロナウイルス感染症の猛威が止まりません。昨年度まで本校に在職してきた皆さんは、御承知の通り、本校では昨年度6月の学校再開依頼、「小野小学校 学校再開 学びの保証プロジェクト」を展開してきました。

本校ホームページ 学校の概要 > [新型コロナウイルス感染症対策関係ページ](#) > [新型コロナウイルス感染症対応 学びの保障ガイドブック \(R2. 6. 8\)](#)

昨年度から子供たちの活動について、感染症対策に留意しながら段階的に広げてきましたが、宮城県・仙台市で5月5日まで独自の緊急事態宣言が発出されていること、現在ステージⅢであることを踏まえ、やや感染リスクが高い活動については当分見送ることといたしました。今後は、もう一度学校を再開した原点に戻って、基本的な感染症対策を徹底していくことを第一に取り組んでいきたいと考えています。

晴天の昼休み。校庭にはたくさんの子供たちの歓声と共に、子供たちと遊んだり、子供たちに寄り添ったりする先生方の姿がたくさん見られました。(先生方も給食を食べて、午後に向け本当は少しゆっくりしたいところだろうな・・・)と思いつつ、ここで子供たちとの関係づくりに手を抜くと、後で取り返しの付かないことになることをみんな知っているのです、ここは頑張りどころです。

今回の長い感染症との戦いは「正解主義からの脱却」といったこれまでの教育観を大きく転換させることが求められています。子供たちの安心と安全を守るためにも、もう一度全教職員で情報と認識を共有し、再び訪れたこの難局に立ち向かっていきましょう。



(文責：手代木)